


はなみずき保育園の生活

はなみずき保育園
令和2年4月6日

年間目標 生理的欲求を満たし、人と気持ちを通じ合う中、いろいろなものと関わろうとする

- 衛生的で安全な環境の中で、ひとりひとりの生活リズムを大切にしながら、生命の保持を図る
- 特定の保育者と関わることで、生理的要求を満たし情緒の安定を図り、愛着関係を築く
- 生活や遊びの中で、保育者に気持ちを受け止めてもらい安心して自己を表現する
- 個人差を考慮し、離乳の完成や歩行、言葉の発達を促す
- 保育者や友だちとたくさん遊び、人と関わることを楽しむ
- ひとりひとりの個人差に留意しながら、五感を働かせる経験を通して、豊かな感性を促す

1日の生活の流れ

～9:00	登園
10:00	きらきらタイム 「遊びと学び」
10:40	離乳食・給食
12:00	午睡
～2:30	
2:30	※着替えやオムツ交換 は適宜行います。
3:00	おやつ
3:45～	延長保育

生活面においては一人ひとりのリズムを大切にしながら進めていきたいと思えます。

登園時間は9:00までです。余裕を持って登園しましょう！欠席の連絡も9:00までに入れてください。

室内遊び、園庭、屋上、散歩・・・子どもの心が動くことを大切に寄り添っています。遊びが学びにつながります。いっぱい遊べる子どもに育てましょう。

落ち着いて食べられるよう毎日同じ時間に同じお友達や保育者と、食べるようにしています。一人ひとりとの関わりを大切に進めていきます。

ドキュメンテーションで日々の遊びや生活の様子など写真を載せてお伝えしています。お家とは違う姿や園生活で経験したことなど見て頂き、子ども達と一緒に楽しんでください。園のホームページでも見られるようになります。

園に通う子どもは、通っていない家庭の子どもよりも親と離れる時間が多いものです。ご家庭で過ごされる時間は、園での集団保育では到底及ばない暖かい環境ですので、絆を深める大切な時間にしていただきたく、両親どちらかがお休みの場合や祖父母の方のご協力をいただける場合は、家庭での保育をしていただくようお願いいたします。

～生活習慣について～

○食事○



抱っこ食べや少人数で楽しくゆったりとした雰囲気の中、少しずつ食事マナーを知らせたり、スプーンやフォークを使って自分で食べようとする気持ちを大切にすすめています。

それぞれの月齢や一人ひとりに応じたメニューを、栄養士と相談しながら作成しています。お家での様子も聞かせて下さいね。

○健康・衛生○



暑さ、寒さを肌で感じられるようにし、健康な身体作りのためにもなるべく薄着の習慣が身に付くようにしましょう。体温調節がうまく出来ない時でもあるので無理なくすすめていきたいと思います。お座りが出来るようになったら、動きやすいよう上下分かれた服装にして下さい。

**衣服は…大きすぎる物、小さすぎる物
収縮性のない物はNG!!**

おねがい



※37℃以上の熱や下痢・嘔吐などの症状がある時は無理せずゆっくり休ませてあげて下さい。(必ず登園前に検温をしてください)

※園では感染症の予防のために手洗い・入室前には消毒を徹底しています。お家でもご協力よろしくお願い致します。

※全ての持ち物に必ず**大きくはっきり**と名前を記入し、消えていたり、おさがりの物も書き直すようにして下さい。(紙おむつにも名前を記入)

※けが防止のため、爪はこまめに切ってください。また成長の過程で噛みつきが見られる事があります。事前に防げるよう気をつけていきますがご理解の程よろしくお願い致します。

※子ども達が触るので、キーホルダー・マスコット・お守りをかばんにつけないでください。

※毎日、のびのび日記に生活表(体温・食事・睡眠・排便・お迎え時間・送迎者)を記入してください。

○排泄○

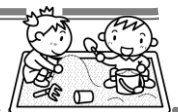


オムツが濡れた気持ち悪さや、替えたときの心地よさが感じられるよう、声をかけ、スキンシップをはかりながら交換しています。

成長とともに仕草や行動で出た事を知らせてくれた時は、一緒に喜び次への成功へと繋げていけるといいですね。

また様子を見てオマルや便器にも親しめるようにもしていきたいと思います。

○あそび・おともだち○



自分の好きな場所や好きな遊びを見つけじっくりと楽しみ、保育者との関わりの中で遊びが展開されたり少しずつですが、お友達にも目を向けられるようになってくる時期でもあります。

自我が芽生え、トラブルもあるかと思いますが関わりを大切にし、しっかり思いも受け止め伸び伸びと遊べるように見守っていききたいと思います。

身体を動かすと、お腹が減り・・・おいしく食べられ・・・満腹で気持ちの良い睡眠へとつながります。よいリズムで過ごすためには家庭と園との協力が不可欠です。落ち着いて園生活が過ごせるようにたくさんお話をきかせてください。

また、1対1での関わりも大切にする中で人の温もりや安心を感じ、人への愛着心を持てるようにしていきたいと思っています。